

安曇野日和



連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

9月から大規模工事が続いており入院中の患者さんには大変ご迷惑をおかけしております。既設の空調設備が年々不具合を発生しており機械としても寿命となりつつありました。数年前から計画を練り、今年度いよいよ空調設備入れ替え工事の着工となった次第です。できれば5～6月に、とも考えたのですが今日の物資供給の問題などから周到な準備が必要となりこのタイミングとなりました。

「この夏は暑くなりませんように」と心からお祈りをしていたのですが、何と6月中の梅雨明け宣言となり、私がめまいを起こす始末でした。長い長い夏にもかかわらず、幸いにも度を越した酷暑とはならなかったためホッと胸をなでおろしました。

そもそも当院開設時には病棟に冷房設備がなく、夏場は窓を開けて対処していたのですが、この20年間に地球温暖化はますます深刻となって、とても自然の風に頼れる状況ではなくなりました。数年後には配管による冷房設備を追加しましたが建物の規模からすると十分な能力とは言えませんでした。

今回の工事では主に病棟廊下に増設しました。建物の構造上、個々の居室に設置することはできませんでしたが、既に使用可能となっている暖房運転では温かさの違いを実感できています。来年の夏は例年より過ごしやすくなるのではないかと期待しています。

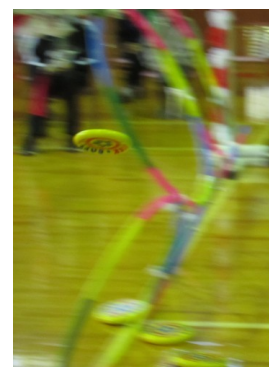
お楽しみコンサート



8月22、23日に、病院行事として夏のお楽しみコンサートが行われました。病院全体での行事は難しく、各病棟単位での実施となりスタッフの発表を中心としたコンサートとなりました。院長先生からは、病棟スタッフのギター演奏に合わせて歌が2曲披露されました。患者さんは、普段とは違う先生の姿に驚いている様子で、集中して鑑賞されていました。その後、スタッフの発表として、ハンドベルや各病棟スタッフによる歌の発表、その場の全員で夏の歌の歌唱を行いました。スタッフの発表については、バンドを組んでの演奏やハンドベルの演奏など、病棟ごとに個性が出ており患者さんも手拍子をしたり、一緒に歌を口ずさまれたり楽しんでいる様子でした。患者さんからは、「素敵な演奏だった」「楽しい時間を過ごせた」等の感想が聞かれました。今年は、残暑が厳しく体や心が疲れてしまうこともあったかと思いますが、このコンサートで少しでも楽しく気持ちが晴れやかになってくれたらと思います。



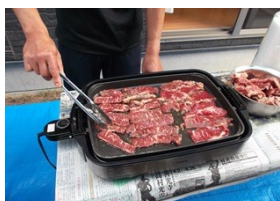
スポーツ大会



スポーツの秋という事で、10月の26、27日に病院行事としてスポーツ大会が行われました。今年の種目は、フライングディスクという実際の障がい者スポーツ競技を病棟ごとに行いました。バレーネットから吊るした5つの輪を的に見立て、そこに向かってフリスビーのディスクを投げ、的を通過した得点を競いました。各病棟ごとで実施し、1位から5位の成績の患者さんには、表彰状と置時計やTシャツやボックスティッシュ等の副賞が授与されました。患者さんは事前に1ヶ月間、週に1度のペースで練習し本番に臨みました。本番では、練習の成果を発揮できた方、緊張して普段の力が出せず悔しそうな様子の方、練習以上の力を発揮できた方など様々で「楽しかった」「緊張した」等の感想が聞かれました。表彰については、医師の先生方にご協力頂き、表彰状の授与を行いました。入賞した患者さんにとって特別な表彰状となったのではないかと思います。その日のおやつには、ティアミスが提供されました。病院では出たことがないデザートという事で「美味しかった」という感想が聞かれました。これからも、小倉病院では患者さん皆さんが楽しめる行事を行っていききたいと思います。



小倉ホーム行事



10月22日に、小倉病院の敷地内にあるグループホーム「小倉ホーム」で、毎年恒例になっているバーベキューを行いました。感染対策を万全に、日頃出来ない屋外での食事で、日光を浴びながら、肉や野菜や焼きそばを美味しく食べていました。



エアコンの改修をしています



小倉病院ではエアコン改修工事が進行中です。室内機／室外機を最新のものにして冷暖房性能を向上させるとともに、病棟内の設置数を増加させ、効率的な空調が行えるようにしています。工事は終盤を迎え、改修が終了した箇所から順次運転を開始しています。病院の周囲を歩くと、新たに室外機が設置され、外観が変化したことがわかります。機会がありましたら、ご覧ください。



病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 医療介護福祉の連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟200床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103
長野県安曇野市三郷小倉6086-2
TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団
ミサトピア小倉病院

城西医療財団HP www.shironishi.or.jp

編集後記

開院20年の報告が前号でありました。今後また10年、20年と継続を目指す当院ですが、建物も同時に老朽化が進みますので、保守保安は欠かせません。今年度の計画として、院内空調の改修が予定通り行われています。安曇野は冷涼な地域だと感じられていた20年前ではありえないような暑さが襲うこの頃です。今後は、新たに性能を強化した空調に守られ、患者さんが安心して暮らせる居住環境のもと、治療、リハビリテーションなどの各活動が進められてゆきます。